**語学力証明書**

１．申請者について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | 姓 | 名 |
| フリガナ |  |
|  |  |
| 所属 | 部局：　　　　　　　　　　　　学部・研究科　　　　　　　　　　身分：[ ] 学部（　　　　）回　[ ] 修士（　　　　）回　[ ] 博士（　　　　　）回学籍番号： |
| 申請するプログラム | 2017年インドネシア大学スプリングスクール |

２．記入者（評価者）について

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名・所属・連絡先 | 氏名 |  | 職名 |  |
| 所属 | 　　　　　　　　　　　　　　　研究科 |
| 連絡先 | Eメール：　　　　　　　　　　　＠電話番号 ：（ 　　　）　 　　－　　　　 |
| 申請者との関係 | □直接の指導教員　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

３．評価する言語と申請者の語学力（評価）

|  |  |
| --- | --- |
| 派遣先での使用言語 |  |
| 語学能力 |  | 聞く | 話す | 読む | 書く |
| 英　　語 |  |  |  |  |
| 　　　　語 |  |  |  |  |
| 　　　語 |  |  |  |  |
| A：高度な語学力を有する（研究についての議論・論文執筆が可能）B：専門分野に関する会話・読み書きが可能（簡単な議論、学術文献の読解ができる）C：学業が可能（授業を受講し、理解できる、専門用語を含む論文の読解ができる）D：日常的意思疎通が可能（現地での生活には不自由しない、新聞読解が可能なレベル）E：少しできる（旅行会話程度ならできる、街の看板程度は理解可能）F：できない |

4. 派遣プログラムの参加について（評価）

　[ ] 前項の評価により、申請者が派遣先において支障なくプログラムを履行できると判断します。

　　理由：

　[ ] 前項の評価により、申請者は派遣先において支障なくプログラムを履行することは難しいと判断します。

　　理由：

記入年月日：　　　　　年　　　　月　　　　日　　　　　　　記入者署名：